

令和7年度 国語課題懇談会 (鹿児島会場)

兼 文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」説明会

カクイックス交流センター

(かごしま県民交流センター) 3階・大研修室 1

鹿児島県鹿児島市山下町 14-50

令和8年2月11日(水・祝日) 13:00~16:00

主催・共催

文化庁・鹿児島県

【概要】 令和7年12月22日に「ローマ字のつづり方」が内閣告示として出されたことを受け、内閣告示の基となった令和7年8月の文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」の内容を説明するとともに、ローマ字表記の歴史を振り返り、参加者からの質問を基にローマ字表記の現代的意義を考える機会とする。

※ 鹿児島県は、日本人によるローマ字日記としては最も古いものの一つである、島津斉彬によるローマ字日記が残されているようにローマ字との縁の深い地であることから、ローマ字答申説明の地として選ばれました。

【日程】

12:30 受付開始

13:00～13:10 開会式

13:10～14:10 ローマ字使用の歴史をめぐる講演 トート・ルディ先生（長崎大学）

* 島津斉彬のローマ字日記で使われているローマ字表記とオランダ人による日本語ローマ字表記をめぐる講演

14:10～14:15 休憩

14:15～15:00 「改定ローマ字のつづり方」をめぐる講演 森山卓郎先生（国語分科会長・早稲田大学）

* 文化審議会答申「改定ローマ字のつづり方」の審議背景や考え方、ポイントについての講演

15:00～15:15 休憩（質問紙回収）

15:15～15:55 質問紙に基づく協議

15:55～16:00 閉会式

* 参加費無料、事前申込み不要、どなたでも参加いただけます。特に、国語施策、国語表記、国語教育、ローマ字に関心のある方は、是非御参加ください。

* 会場定員 80 名



カクイクス交流センター

【問合せ】 文化庁国語課（鈴木）

E-mail kokugo@mext.go.jp

TEL 03-5253-4111（内線 2841）